

# 発 言 通 告 書 <総括表>

平成16年 第3回 定例会 一般質問

発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1 小林やすお議員	夜間災害対策と災害要援護者対策について  (仮称)千代田区文化芸術プランについて	災害の夜間発生を想定した防災計画と訓練、指揮系統の確立が肝心 災害要援護者に対する「地域の助け合いネットワーク」の構築と多角的な防災訓練が必要 災害要援護者の緊急時、情報公開について 千代田区の計画としての独自性について 事業実施にあたり、必要な措置は (仮称)ちよだアートスクエアとは	区長並びに関係理事者
2 中村議員	区が取り組もうとしている、観光都市としての千代田区について	私たちのまちの今後を考えるキーワードとして、「観光」という視点は重要であるが、これへの取り組みは時間がかかったとしても、区民と一緒に歩んでいくという姿勢が貫かれる必要があるのではないかと。 どこのまちにでも適応できる「観光ビジョン」であれば作成する意味がない。作成予定の「観光ビジョン」の方向性については、最低限、議会と共通認識にしておく必要があるのではないかと。 観光立区は区民に対して、どのような具体的なメリットを生みだすのか。これが見えていないと行政の一人歩きになる恐れがある。情報と意気込みをどう、区民と共有していくのか。 千代田区の産業観光は、過去・現在に加えて「未来を創る」ことが特色になる可能性がある。従って名古屋地区の産業観光のそれとは違う。この点については現時点で整理しておく必要があるかと。 観光基盤整備の重要な柱でもある文化・芸術基本条例の精神は、まだ区民全体に浸透していないと思う。今後「観光」との関係でどう展開していくのか。等々	区長・担当理事者
3 下田議員	ヒートアイランド抑制策としての環境対策	最新の世論調査によれば、区民の区政に望む事の1位は環境対策である。近年の著しいヒートアイランド現象の抑制対策として；千代田区に残された数少ない河川(神田川、日本橋川)の本格的親水化、川辺の整備緑化 廃校を含む未利用区有地の積極的緑化、等が急務である。	区長並びに関係理事者
4 木村議員	1 待機児童対策について 2 いずみこども園について 3 中等教育学校	区立保育園の保育環境への認識は 非常勤保育士の待遇改善や、住民・職員参加で区の保育のあり方を検討する組織のたち上げなどいくつかの提案をおこなう 人権にかかわる福祉・教育現場にも人件費を中心とする予算削減を機械的に押しつけるものとなっていないか。 2つめのこども園の具体化の前提として、保護者、保育士、教諭によるいずみこども園の検証が不可欠。 学校評議会について 斉藤氏の教育方法論を中等教育学校に採用することについて	区長、教育長、関係理事者
5 林 議員	ポリエチレンテレフタレート(ペット)ボトルの回収  介護保険制度の見直しは	<b>資源としての回収は!?</b> 不燃ゴミとしてどのくらい廃棄されているのか <b>小学校でペットボトルの回収を!!</b> コンビニ等事業者に負担をさせるだけでなく、リサイクル社会への教育を実践していくように <b>情報発信の充実を!!</b> 区のホームページを利用者の立場に立ち、検索機能や目次のリード文等の整備はその後の進捗状況はどうなっているのか <b>地域密着型サービス拠点を!!</b> 民間活力を生かした方法で小規模多機能拠点の整備を	区長並びに関係理事者
6 鈴木議員	来年度予算編成の取り組みについて  区内の区有財産(土地・建物)の活用について	・助役の依命通達について ・推進プログラム及び行財政構造改革大綱の改定について ・国の「三位一体の改革」の動向についてどう受けとめているか ・都区制度改革の動向についてどう対応しているか ・学校の跡地・建物はじめ区有財産の有効活用の取り組みと検討のあり方について区長の見解を問う	区長並びに関係理事者
7 嶋崎議員	放置自転車の対策について	徹底した、指導、警告、撤去、保管期間を、含め今までは、ちがう取り組みを自治体として、知恵を絞れるのか？ 様々な視点で検討する必要があるが、リサイクル自転車の活用も、観光に役立て、交通アクセスとして、考えてみては、どうか。	区長・並びに関係理事者
8 寺沢議員	指定管理者制度について  介護保険制度見直しについて	現在直営で管理運営している施設についてどのような判断基準で考えていくのか。 制度導入により区から見えにくくなる点のフォローは 選定委員会での手続きの公正性透明性を高めるための工夫は、 従来の受託主体には議員、長についての兼業禁止規定があったが、その規定がなくなった。区としてどう考えるか。 介護度の軽い人は「介護予防重視システム」により、家事援助等従来のサービスが利用しにくくなる。必要な人に必要なサービスを提供する為に実態調査をすべき。 保険料徴収年齢の拡大による若年層からの徴収と障害者支援費制度との統合について、保険者である区はどう考えるか。	区長及び関係理事者
9 大串議員	図書館の大いなる可能性について。	(1)図書館の理念と目的は。 (2)蔵書構成方針や選書基準を公開し、区民の協力を得るべきでは。 (3)現状での課題と今後の具体策について	区長並びに関係理事者、教育長
10 河合議員	カラー(色覚)バリアフリー社会の構築について考えてみませんか。	21世紀の情報化社会において、コミュニケーションの伝達手段としてカラーによる情報発信が格段と進歩した今日、色覚障害者にもやさしい街づくりが急務であると考えます。都心千代田区において、早急にカラーバリアフリーの社会構築を目指してもらいたい。	区長並びに関係理事者